

学校図書館支援センター通信 NO 11 9月号

平成20年度 市川市学校図書館支援センター(市川市教育センター)

学校図書館研修会

～ 第2回学校図書館研修会・ネットワーク会議 ～



9月半ばになり、吹き抜ける風にも秋の気配が一層感じられるようになりました。

さて、8月29日(金)「第2回学校図書館研修会・ネットワーク会議」が開催されました。司書教諭(図書館主任) 学校司書、学校図書館員対象の必修研修ですが、希望研修として参加された先生方も多く、学校図書館活用への関心の高さが伺われました。

講話では、高橋幸子先生(富美浜小学校司書教諭)が、司書教諭の役割や図書館活用推進リーダーとしての司書教諭の活動の実際など、具体的な多くの事例を挙げながら、わかりやすくお話してくださいました。

午後は、五十嵐絹子先生(山形県鶴岡市教育委員会図書館支援業務員)を講師にお迎えし、ご講演をいただきました。40年にわたる学校司書としての豊かな経験と



五十嵐先生のご講演

実践に基づき、今後の学校図書館活用の方向性と図書館運営の実際について、ご指導をいただきました。

お二人の先生方子どもや図書館教育に対する熱意と確かな実践に、参加者の皆さんも胸を熱くしながら、聞き入っていらっしゃいました。

また、司書教諭のグループ研修では、各学校の図書館運営・図書館活用について情報交換しながら、今後の図書館教育の推進について、熱心な話し合いが行われました。9月からの経営に、ぜひ生かしていきたいものですね。



司書教諭グループ研修

公共図書館体験研修会(7月29日・30日)

今年度は8名の先生方(小学校6名、中学校2名)が、研修会に参加されました。資料(図書)の配架、書架整理、カウンター体験、予約本処理作業、読み聞かせ体験など公共図書館のさまざまな業務を体験研修され、充実した2日間となりました。

参加者を代表して、お二人の先生方の感想を紹介します。

「希望する本を手にするまでの過程、カウンターでの言葉かけ、子ども図書館でどう世界を子どもたちに紹介していくのか、それらすべてがコンピュータで便利になった現代でも、人知、人によって支えられていることを再確認した2日間でした。自分なりの学び、気づきを生かしていきたいと思えます。」 (第六中学校 教諭 山桑真弓)



「中央図書館は、児童サービスで平成12年に『子どもの読書活動優秀実践図書館』として文部科学大臣の表彰をいただいたそうです。しかし、その後も満足することなく、常に利用者の立場に立ったサービスを考え実践している姿に頭がさがる思いです。職員の皆様のきびきびとした爽やかな接客態度も勉強になりました。お忙しい中、貴重な時間を割いていただいたことに感謝しています。」 (大洲小学校 教諭 古屋京子)

『研修報告書』より抜粋



来年度も多くの先生方のご参加をお待ちしています。

読書の町市川とともに歩んで・武

21年前、一校目は、国分小学校だった。その頃、市川の読書は勢いが増しつつあるときであった。その中で読書指導員は数名であった。「図書室にいてくれるだけでよい」と言われていた当時ではあるが、司書の方のように、毎日の勤務ではなく週3日で、管理面でも同じようにはできなかった。

そのような中で、諸先輩たちに習っているうちに、非常勤であってもプライドを持ってやっていくためには、読書指導員として先生や子どもたちとたくさんふれ合い、学習への参加や学校行事への読書の活動を組み入れていくことの必要性を感じ、週1回の図書の時間に、読み聞かせや本の紹介を積極的に行い、本の楽しさや学習への生かし方を担任と一緒にさぐっていった。

そのような取り組みの中で、調べ学習の活動ができる部屋がもう一つ必要であることを痛切に感じ、先生たちも協力して下さり、市川で初めての調べ学習室ができた。さあ、これからだというときに、転勤になってしまった... (八幡小学校 学校図書館員 加藤秀子)

(このコーナーは、全4回シリーズでお届けする予定です。)

図書館の窓から ~ひろげよう!図書館の輪・リレー執筆~



書架、ブックトーク、アニメーション。学校図書館の仕事に就いてから知った言葉です。貸出、返却本の購入、データ収集など、すべてパソコンで行うことを知り、IT化が身近にあることに驚きました。パソコンと格闘し、司書教諭の先生をはじめ学校の先生、職員、生徒の皆さんに助けられ、他の学校図書館員の方々に助言を頂き、...気づくとあっという間に1年間が過ぎてしまいました。

研修会に参加するたびにやってみたいことが増えていきます。まずは、死角を減らす模様替えに挑戦してみました。

(大洲中学校 学校図書館員 小山敬子)



学校図書館の模様替え

路子の部屋



猛暑と格闘した夏の締めくくりに、8月29日開催された市川市学校図書館研修会では、講演をしてくださった高橋幸子さん、五十嵐絹子さんの優れた仕事ぶりや学校図書館への情熱に、参加者一同圧倒され、お二人のあふれる思いがひしひしと伝わる素晴らしい講演内容でした。アンケートも大変よかったという声ばかりでした。

早速、あの昼休みに、五十嵐絹子さんが高橋幸子さんに「鶴岡市に来て講演をしていただくのは可能でしょうか?」と声をかけていらっしゃいました。

9月6日(土) 国立青少年オリンピック研修センターで開かれた日本学校図書館学会で、南行徳中学校図書館員の島津直美さんに発表をお願いしました。内容は「学校図書館改造 - 居心地の良い図書館、本をさがしやすい図書館をつくりたい!」7月の学校図書館員研修会での提案をまとめたものです。市川市での学校図書館の様々な動きを外部に知らせたいと無理にお願いしましたが、学者の方々、他市の教育委員会関係者や司書教諭、学校図書館に関心のある皆さんの前で、緊張した1日でした。

物流ネットワークのポスターを配付します!

【市川市図書相互貸借システム・絵と写真でみる物流ネットワークのしくみ】のポスターを各学校、1部配付します。これは、平成15年度に学校図書館資源共有型モデル地域事業の物流専門部会で作成したものです。校内に掲示していただくとともに、全職員で、物流ネットワークのしくみと利用方法を再度、共通理解して、学校全体で学校図書館活用をさらに推進していきましょう。